

普及センター情報

平成 30 年8月6日

日高農業改良普及センター日高西部支所

TEL:(01457)2-2055 FAX:2-2918

土壌還元消毒を効果的に行いましょう

土壌消毒を行う際、時期や方法により消毒の効果が低くなる場合があります。下記の点を参考に効果的に土壌消毒を行いましょう。

○ 土壌還元消毒を効果的に行うポイント

(1) 実施時期

土壌還元消毒は、ハウス中の地温が 30℃以上で 100 時間を確保できることが必要になります。実施時期は9月上旬までが最も適しています。

表1 土壌還元消毒の適期

地 区	適温が確保できる期間 (平均気温 18℃以上)
日高町門別	7/16 ~ 9/9
新冠町新和	7/9 ~ 9/6
日高町日高	7/9 ~ 9/3



写真1 かん水チューブの設置

(2) 土壌の整地、鎮圧

土壌表面に凹凸があると被覆をした際に空気が入り還元状態を保ちにくくなります。ふすま、米ぬかの混和後は、整地・鎮圧を行って土壌の均平化をはかりましょう。

(3) かん水チューブの設置

散水幅に合わせてチューブを設置して下さい。間口7mハウスの場合、散水幅両側30cmのチューブなら11本、散水幅両側80cmのチューブなら4本が目安です。

(4) かん水量

ハウス内のかん水量が多いほど、土壌還元消毒の効果は安定します。100坪あたり50~100tを目安に長時間かけてしっかりかん水しましょう。

(5) 被覆による還元処理

かん水終了後、ビニール被覆をすぐに実施しましょう。密閉度を高めるため、ビニールの縁に重しを置き、土壌表面とビニールとの間に隙間が出来ないようにしましょう。土壌還元消毒は、1ヶ月ほど還元状態を保ちましょう。

(6) 土壌還元消毒後の処理

消毒後の土壌は無菌に近い状態になっています。しかし、消毒の効果が不十分だと残った病原菌が反動で増えることがあります。土壌還元消毒を終えたら、十分に腐熟した堆肥やぼかし肥、又は有効菌や植物共生菌等を土壌に施用し、病原菌の増殖を未然に防ぎましょう。

～自然災害に備えてハウス野菜も農業保険に加入しましょう～